1

「に」の つく ことば

おうちのかたへ　一つの音に一つの文字が対応していることを意識させる問題です。「『たに』にも『に』が入っているね」などとヒントを出してあげてもよいでしょう。

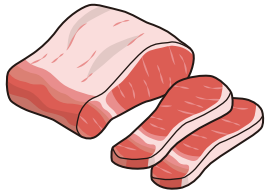
単語の分解

がつ　にち

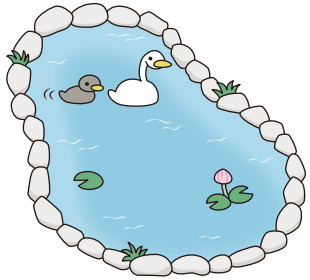
なまえ

えの ことばを こえに だして よもう。「に」の はいって いる ことばを さがして ○(まる)で かこもう。

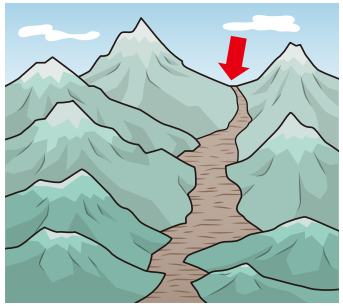
にく



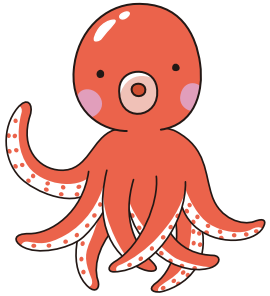
いけ



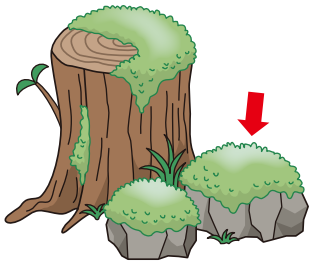
たに



たこ



こけ



こけし

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう！

教科の枠を超えた思考力を養います

くわしくはこちら！

Z会の本

2

どっちの　みちかな

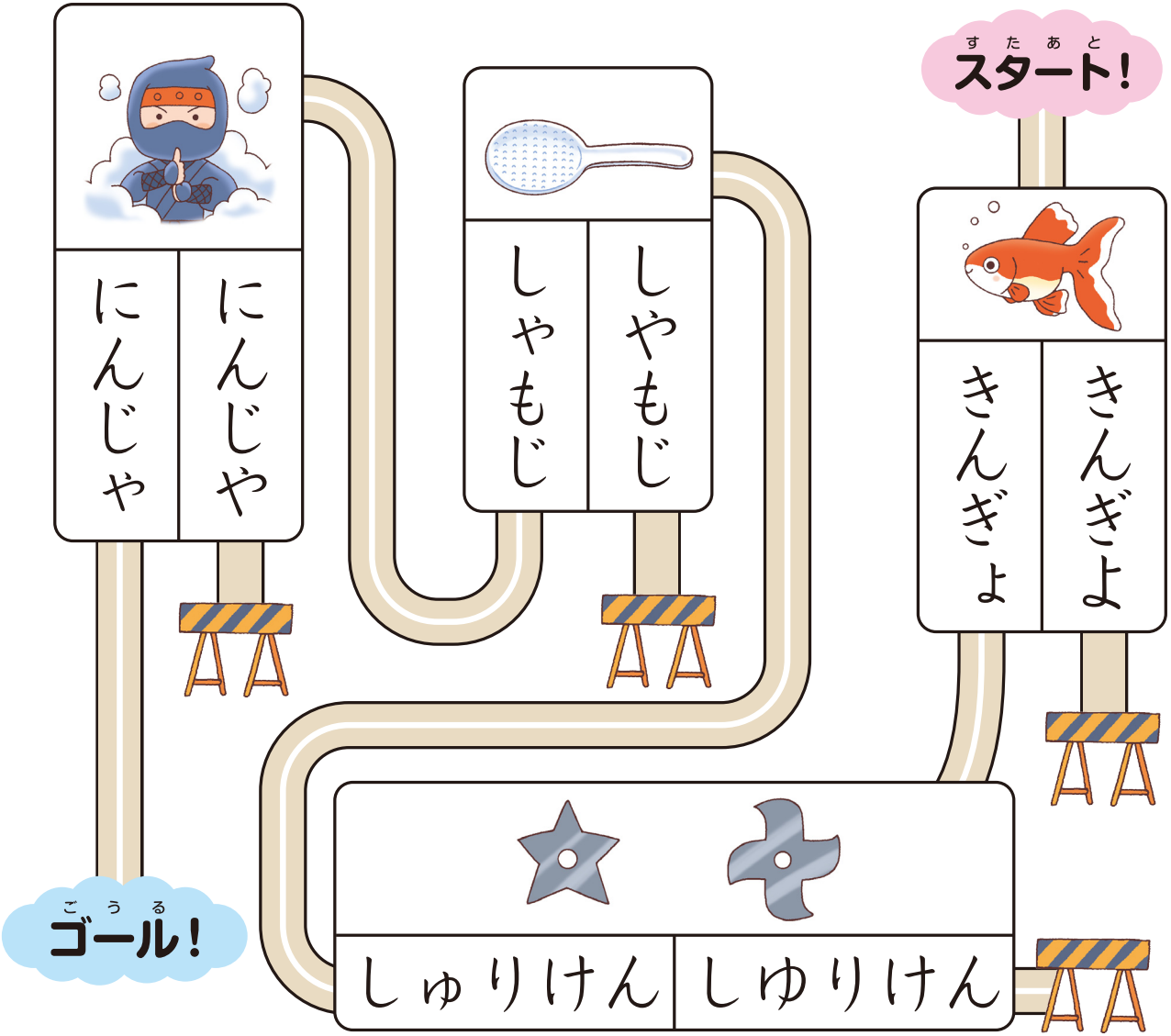
えに　あう　ことばを　えらんで、ただしい　ほうに
○を　つけながら　ゴールまで　すすもう。

おうちのかたへ　小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」の使い方を扱います。両方の選択肢を読み上げて、音に違いが出ることを意識させるとよいでしょう。

なまえ

がつ　にち

拗音の読み



Z会 × ちびむすドリル
考える楽しさを体験しょう！
教科の枠を超えた思考力を養います

くわしくはこちら！
Z会の本

3

しりとり を しよう

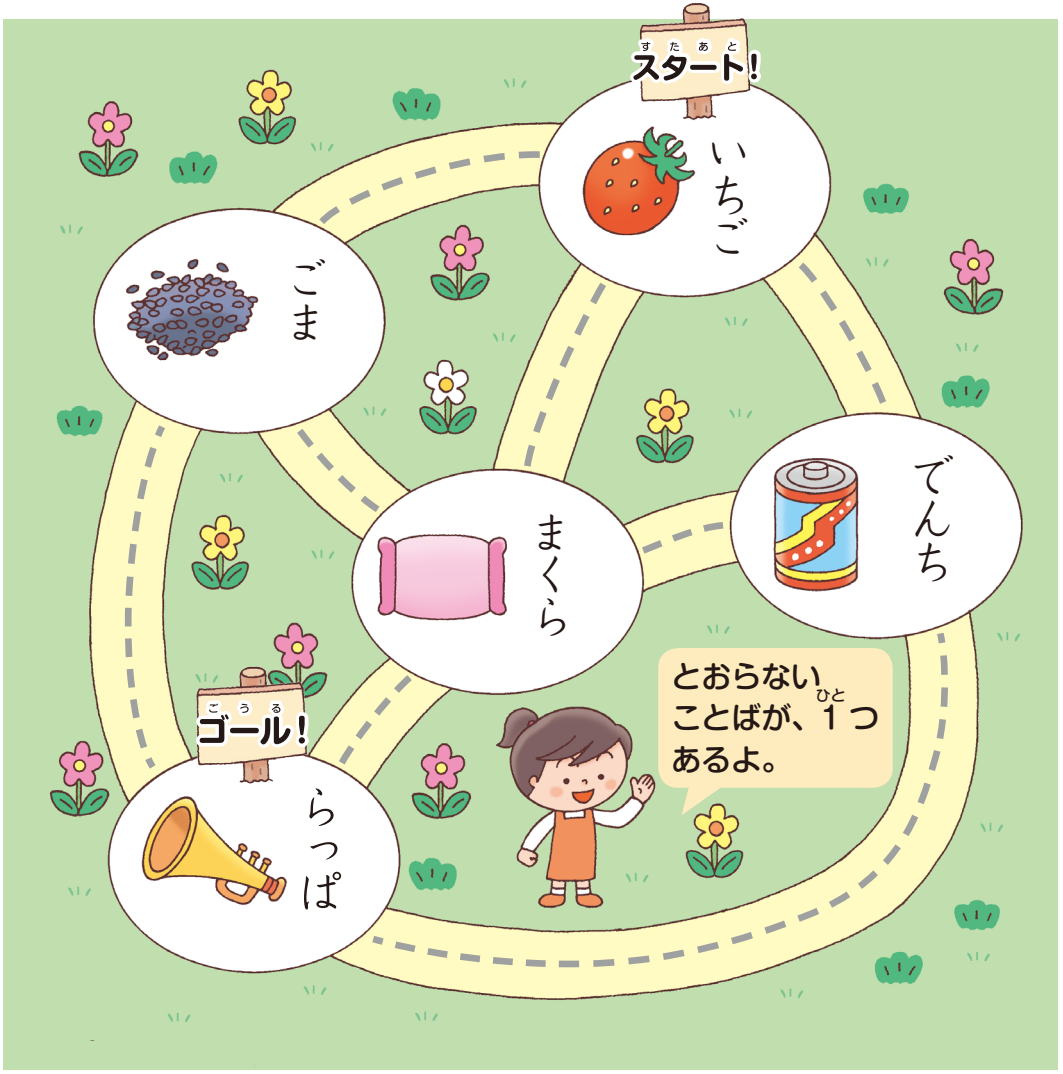
しりとりに なるように、ーーーを なぞりながら
ゴールまで すすもう。できた しりとりを こえに
だして よもう。

おうちのかたへ　しりとりを通して、単語を構成する一つの音に一つの文字が対応していることを意識させます。迷ってしまうときは、一文字ずつに区切り、「同じ字の形で始まることばはどれかな」などとお声がけするとよいでしょう。

単語の分解

がつ　にち

なまえ



Z会 × ちびむすドリル
考える楽しさを体験しよう！
教科の枠を超えた思考力を養います

くわしくはこちら！
Z会の本

4

クロスワードで　あそぼう

おうちのかたへ　クロスワードを通して単語を構成する一つの音に一つの文字が対応していることを意識させます。迷ってしまうときは、後ろのしかくの中の文字を一つずつ順に入れて、単語を確認させながら進めるとよいでしょう。

単語の分解　がつ　にち

なまえ

えに　あう　ことばを　つくるよ。□に　あてはまる
ひらがなを　うしろの□から　えらんで　かこう。

ヒント　↓の　むきに　よもう。

き		
り		

も		
あ		

り	
	し

り
す
つ

Z会 × ちびむすドリル
考える楽しさを体験しよう！
教科の枠を超えた思考力を養います

くわしくはこちら！
Z会の本

5

かずを　さがそう

ことばの　なかに　かくれて　いる　かずを　さがして、
せん
●―●で　むすぼう。

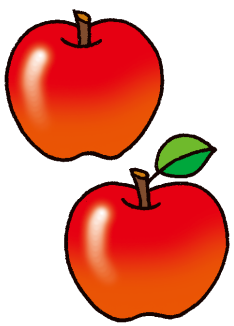
おうちのかたへ　単語を構成する一つの音に一つの文字が対応していることを意識させます。迷ってしまう場合は数以外の文字を指でかくしてヒントにしてもよいでしょう。

単語の分解

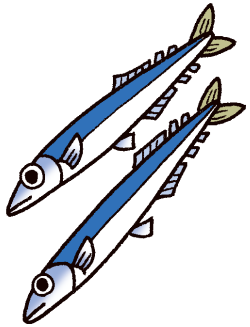
がつ　にち

なまえ

はちみつ



りんご



さんま

●　●　●

5	ご

3	さん

8	はち

●　●　●

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう！

教科の枠を超えた思考力を養います

くわしくはこちら！

Z会の本

6

はんたいから　よんで　みよう

おうちのかたへ　上から読んでも下から読んでも同じになる「回文」で、文字に親しみます。迷ってしまう場合は「あかるい」「にわ」など、文節の区切りで線を引きながら音読するとよいでしょう。

回文　　がつ　にち

なまえ

うえから　よんでも　したから　よんでも　おなじなのは　どれかな。あって　いる　ものの　□（しかく）の　なかに　○（まる）を　かこう。

あかるいにわわにいるか　□

わにいるかあかるいにわ　□

にわあかるいわにいるか　□

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう！

教科の枠を超えた思考力を養います

くわしくはこちら！

Z会の本